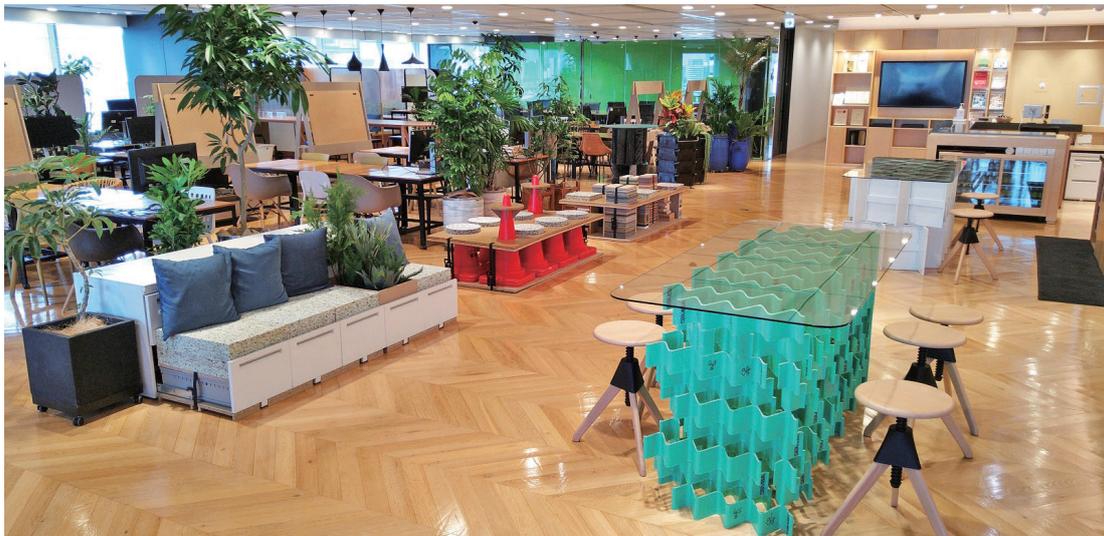


News Release

2021年4月15日
株式会社 船場
コーポレートコミュニケーション室

(株)船場本社がハブオフィスの新たな価値を追求する GOOD ETHICAL OFFICE にリニューアル

株式会社船場(本社：東京都港区 代表取締役社長 八嶋大輔 以下「船場」)は2021年4月、本社の全面リニューアルを完了します。本リニューアルは、どこにいても働ける時代にハブオフィスの新たな価値を追求するとともに、地球や人・社会に優しいグッドエシカルなオフィスの構築を目指しました。



1. 本社リニューアルの経緯

船場では、2019年より推進する働き方改革に伴いテレワークの促進が実現。2021年3月には「第1回TOKYOテレワークアワード」で栄えある大賞を受賞しました。この働き方改革に伴い、2020年12月に東京港区の本社オフィスを2フロアから1フロアに集約。場所を選ばずどこにいても仕事ができる時代に、オフィスで仕事することに新しい価値を創出するため、当社の空間デザイナーや施工技術者が集結し、計画を進めてまいりました。2021年3月には執務スペースの改築が完了し、4月下旬にはエントランスを含むすべての工事が完了します。

2. オフィスツアーの開催

以下の日程において、メディア関係者向けオフィスツアーを開催します。

オフィスツアーでは、新オフィスのご案内に加え、新設スタジオからのトークセッション配信、「丘」エリアでのストレッチ（講師：原川愛（「テレビ体操」アシスタントとしてテレビ出演中）の開催等、様々なイベントを企画しております。多様な働き方を推進する船場の新たなオフィスをぜひ体感してください。尚、オフィスツアー当日のコンテンツや予約のご案内は決定次第、追加で配信します。

参加ご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

日程：2021年5月17日(月)、18日(火)（メディア関係者向け）

場所：東京都港区芝浦1-2-3シーバンスS館9階

問い合わせ先：information1008@semba1008.co.jp

3. 新オフィスの概要

拡散する働く場の「つなぎ目・起点」の役割を担うハブオフィス。

船場の新しいハブオフィスでは、人と人、人と組織、組織と社会、リアルとバーチャルのつながりを強固にする場所となることを目指しました。

■ リニューアルコンセプト

働くシーンを自由に選択できるABW（Activity Based Working）の実現に向け、変わり続ける時代に試しながら作っていくことができる「HACKABLE DESIGN」をデザインコンセプトとしながら、船場の重要テーマである「デジタルとエシカル」を取り入れた空間設計を施しました。

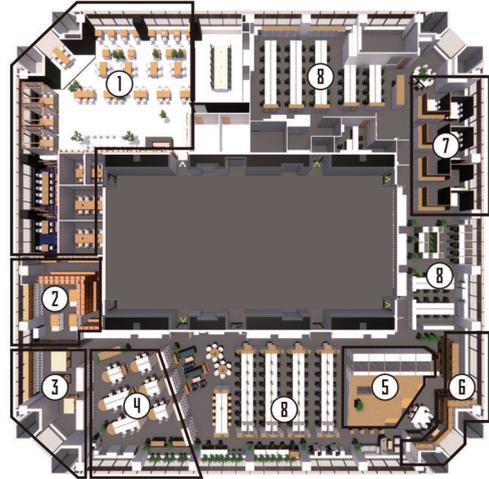
働くシーンを選ぶワークスタイルへ。 ABW (Activity Based Working)



▶ リニューアルのコンセプトイメージ動画はこちらをご覧ください。（<https://youtu.be/msGsCz7Y1vw>）

■ 全体ゾーニング

ワークシーンに合わせて様々な場所、スタイルを選択できるゾーニングとしました。エリアによってデザインや機能・設備を分けながらも、全ての場所でミーティングやソロワークができる自由度の高い設えとなっています。



<ゾーナー覧>



①Collabo (コラボ)

来客・パートナーと社員で使うコラボレーションエリア。ミーティングやショールーム・カフェ・配信機能と、A/BWの執務スペースとしても利用します。



②Material (マテリアル)

マテリアル全般の情報ストックの場所。ピックアップしたマテリアル・新着情報の展示や、リアルサンプルの組み合わせを確認できる場所です。



③Prototyping (プロト)

模型や簡単な試作品を製作できる工具・機材を揃えて、アイデアを具現化してみる場所。モノに触れながら考えることも大切だと考えています。



④Project (プロジェクト)

プロジェクトチームを立ち上げ、メンバーが集まり進めるための場所。期間借りも可能で短期集中コンペ等の際に素材並べのキープをしながらの執務に対応。予約のない時はもちろんソロワークでも利用できます。



⑤丘 (オカ)

デスクとは異なるワークシーンで新たな会話と発想につなげるための場所。リフレッシュや社内のセミナーにも活用できます。



⑥Library (ライブラリー)

書籍のリソースを共有しながら新たな気づきが発見できる場所。パンフレットや施設情報などの情報共有の場所にもなります。



⑦BOX (ボックス)

集中したいソロワークや、チームミーティングを行う場所です。ブース内に資料を掲示しながら創造の世界に入り込む場所にもなります。



⑧オープン・プロダクション・コーポレート

誰もが利用できるスタンダードなフリーエリアと、情報管理上、部門別エリア設定の場所。その他、密閉カウチナー、立ちながら執務のスタンドブース、テレビ会議対応ブースなど、様々なソロワークのカタチが取りまわされています。

■ エシカルデザイン

本リニューアルはSemba Ethical Design Thinking※で、今あるものを利活用しながら新たな価値の創造へと繋げるグッドエシカルなオフィスです。

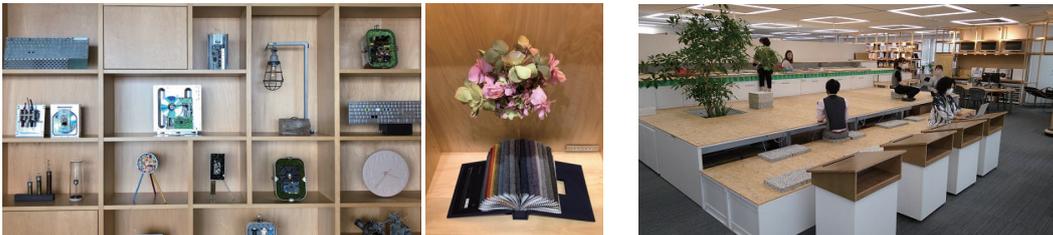
更に、資源循環型のリノベーション「CIRCULAR RENOVATION™」を一部取り入れ、資源のリユース・リサイクルのみならず、リニューアル前のオフィスで使用していた什器や備品、使用済みのマテリアルサンプル、現場工事で排出された廃材を、ファニチャー・アート作品としてアップサイクルし配置する等、様々なエシカルデザインを各所に施しています。

▶資源循環型リノベーション「CIRCULAR RENOVATION™」の詳細はこちらをご覧ください。
(<https://www.semba1008.co.jp/ja/release/news/news-20210312.html>)

<エシカルデザインコンテンツ（一部）>



① 現場工事で使わなくなったカラーコーンやマテリアルサンプルを活用しファニチャーへとアップサイクル



② 使わなくなった備品やディスプレイ、サンプルなどの廃材で作ったアート作品を展示し、オフィスの記憶を継承

③ ABW へのシフトにより、大量に廃棄予定となったデスクを積み重ね「丘」エリアを形成

※ Semba Ethical Design Thinkingについて

「デジタル」と「エシカル」を企業改革の重要テーマと掲げる船場が全社で推進するエシカルデザインの考え方。地球環境への配慮や思いやりの観点から、全ての事業プロセスを一人一人が“Rethink”することから始めています。

SEMBA CORPORATION

商業施設をはじめオフィスや教育・文化施設等の様々な空間創造において、企画・設計・施工・メンテナンスまでをトータルでサポートしています。サステナブル社会に求められる空間設計の新たなテーマとして循環型の内装設計“エシカルデザイン”を推進しています。

社名 株式会社船場（カブシキガイシャ センバ）
所在地 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館9階
上場 東京証券取引所市場第一部（コード番号：6540）
主な実績 Firsthand RAYARD MIYASHITA PARK/設計・施工、GREEN SPRINGS/企画、
大阪大学豊中キャンパス大学生協食堂/設計・施工、VOYAGE GROUP OFFICE/設計・施工

本件に関するお問い合わせ
株式会社 船場
コーポレートコミュニケーション室
✉ information1008@semba1008.co.jp
🌐 <https://www.semba1008.co.jp>

G O O D
ETHICAL
PARTNER

SEMBA